

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名 称	いまいずみ児童館
	所 在 地	栃木市今泉町1丁目2番7号
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名 称	株式会社メディカルフィットネスとちの木
	所 在 地	栃木市野中町553
	主な業務内容	栃木市いまいずみ児童館の管理運営

（1）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか				
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか				
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか				
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	基本方針研修・PASS理念等研修			年4回	年5回	
	利用案内掲示数			5か所	7か所	
	利用者アンケート数			100件	119件	
	利用者満足度（事業参加者）			80%	95%	
	意見反映数			5件	8件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	25	Ⅱ	0.8	20	I	1.0
指定管理者コメント	①児童福祉法に基づいた施設運営の基本方針を明文化し、年5回の研修で職員への周知と理解を図りました。					
	②施設の利用に関する案内を館内7か所に掲示し、初めての方でも利用しやすい雰囲気づくりに努めました。また、平等性の確保への取組みとして接遇研修を実施し、職員のホスピタリティの向上を図るとともに、全ての利用者への公平公正な接遇に努めました。小学生の利用が増加傾向にあり、両親が共働きでも安心して利用させられる施設運営に取り組み、パソコンや卓球の貸出しでは利用のルールを明確にし、平等な利用を児童に指導しました。また一人でいる児童には声を掛け、職員と一緒にいてあげられる環境づくりに努めました。					
	③アンケート調査・会話・ご意見箱・ホームページを用いて利用者の意見収集に努め、8件の意見反映を行いました。利用者アンケートは児童、保護者ともほぼ同数を収集し、各世代の意見を職員間で共有しました。イベント参加者を対象としたアンケートでは高い満足度を得られ、要望のあった事業を追加で開催するなどの対応を行いました。対応した要望の中には1階の泉寿園と協力したものが多く、施設全体で子どもを見ていくという意識を持つよう心がけています。今年度より開始したアイスの販売では、小学生でも利用しやすい価格設定としました。					
	④苦情の対応について研修を行い、早期解決と職員の対応による苦情の深刻化・長期化の防止を図りました。市担当課と内容確認・協議を要する苦情が2件あり、職員の業務配分の見直しや、特に小さなお子様を伴う利用者への配慮について、追加実施した研修の中で改善点を話し合いました。					

施設所管課コメント	・ 接遇研修等により職員のホスピタリティの向上を図っている効果もあり、利用者からの満足度が高くなっているものと思われる。今後も施設の設置目的等を理解しながら、利用者を思いやった運営に当たっていただきたい。 ・ 利用者意見反映を多く行っており、収集した情報を事業に有効活用できていると評価できる。 ・ 発生したトラブルに対しても、児童館として適切な対応ができていると伺える。これは、日頃から職員が目的意識をもって業務にあたっていることによるものと思われる。
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	地域・関係団体等との協働事業回数			13回	25回	
	新規事業数			4事業	9事業	
	ホームページ更新回数			12回	14回	
	じどうかんだより発行回数			12回	13回	
	利用者数			8,700人	9,378人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	①施設の設置目的に合致した事業として計画したものはすべて実施し、計95回を開催しました。幼児の事業参加が大きく減少傾向にあり、子育て家庭の環境変化が感じられます。感染症の不安が緩和され、特に小学生の利用が大きく伸びていることから、乳幼児ルームは常時開設し、安全に利用ができるよう注意を払いました。当館では工作のイベント準備の割合が多いこともあり、児童に手伝ってもらいながら会話をするなど、職員と交流する機会をなるべく作れるよう努めました。小学校高学年では一部迷惑行為が見受けられ、職員が本人と向き合い話を聞き、学校側を交えた話し合いをするなどの対応を行いました。					
	②広報とちぎやじどうかんだより、ホームページにて毎月の情報発信を行いました。不定期のものでは、栃木市の子育てアプリへの情報掲載を4件、泉寿園との交流事業におけるケーブルテレビの取材が1件ありました。夏季のイベント告知では、夏に利用が増えるプール施設へのポスター掲示を行いました。じどうかんだよりにおいては今年度も特別号を作成し、新しい玩具や図書の周知に特化した内容で配布しました。					
	③年間の利用者数は昨年度より1,501人増加の9,378人となり、コロナ禍以前に近い水準まで回復してきました。イベント総参加者数は減少となりましたが、新規事業は年度の途中にも企画を話し合い、計画以上に実施しました。中でも泉寿園との世代交流事業は4事業展開し、集客の多い鑑賞会イベントは年2回開催しました。まだ互いの利用者同士の交流が十分に図られているという段階ではありませんが、こうした機会は今後も作っていきたいと考えています。					
	④じどうかんだよりの配布では計33か所の協力がありました。関係団体と協働した事業については、昨年度より多い8団体、計25回の実績となり、特に泉寿園と連携した事業の開催にあたっては多大なお力添えをいただきました。チャレンジ母親クラブにも参加していただいた「じどうかんまつり」では、時間制限や入替制を廃し、昨年度よりも多くの利用がありました。母親クラブとしての活動は終了されますが、地域での児童育成という関係性を続けていきたいと思ひます。					
施設所管課コメント	・計画値を上回る事業を実施しており、参加者傾向の変化にも柔軟に対応し利用者のための事業運営ができていると見受けられる。 ・令和5年度の利用者数はコロナ禍以前に近い水準まで回復しており、地域児童の居場所として求められている実態が伺える。 ・多様な団体と協働事業を実施することにより、自主開催ではできない各団体の魅力を取り入れた事業が展開できている。多様な団体と連携して事業を行うことは、児童の健全育成はもちろんであるが、職員間の交流や質の向上につながることから、引き続きこのような取組をお願いしたい。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	本社及び税務会計事務所によるチェック数			12回	16回	
	購入品見積もり合わせ実施件数			5件	6件	
	設備・備品等更新数			5回	8件	
	廃棄物の再利用回数			10回	20回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	I	1.0
指定管理者コメント	①指定管理料の収支手続については、四半期毎の財務委員会に加え、専任の担当者と毎月の収支及び予算状況の確認を実施し、税理士の指導・助言のもと適切に管理を行いました。					
	②施設の利用率や利用状況の把握に加え、電力の計測システムの導入による電気使用量及び最大需要電力の管理を行いました。空調管理については特に乳幼児の利用範囲には気を配り、利用者の体調維持に配慮した省エネに努めました。					
施設所管課コメント	③外部委託については屋外害虫駆除及び遊具広場の緑地管理、エアコン室内機のフィルター清掃を自社で実施し、清潔な環境の維持と委託経費の削減に努めました。軽微な修繕は可能な限り職員でも行っています。また備品購入の検討にあたって6件の見積合わせを行いました。					
	④施設や備品等の各種点検を実施し、優先度や状態に応じた必要性を考慮のうえ適切な修繕・維持管理を行いました。環境配慮への取組みとして、行事工作物材料等への廃棄物の再利用、また地元業者より寄付のあった廃材を用いたイベントを企画するなど、計20回のエコ活動を行いました。					
施設所管課コメント	・本社及び税務会計事務所によるチェックを年度を通して継続的に行い、適正な財務管理がなされている。					
	・電力の計測システムの導入など、省エネ対策を工夫して行いつつも利用者の体調にも気を配っており、サービスの質への高い意識が伺える。					
	・廃棄物の再利用の回数が計画値の倍以上行われていることから、施設経費の節減について、高い意識を持ちながら運営がなされている。今後も経費の節減と利用者の満足度を満たすことのできる運営に期待したい。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			常時2名以上	90%程度実施	
	職員研修会実施回数			12回	13回	
	施設長会議出席回数			10回	10回	
	外部研修参加回数			4回	5回	
	経営収支比率			100%	100.2%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①防火管理者を配置し、日常的な安全確認や避難経路の確保等に留意しました。保育士、幼稚園教諭等の資格所持者の常時2名以上配置を計画しましたが、有資格者の補充が十分ではなかったことから、1割程度は他の職員でサポートしながらという体制となりました。乳幼児ルームの利用者から「もっと職員に声をかけてもらいたかった」という意見があり、資格や経験の豊富な職員がより利用者対応に専念できる時間を作れるよう、業務配分の見直しを行いました。また意見交換や情報共有の場として、市内児童館との館長会議の他に、社内での施設長会議を定期的に行いました。					
	②労働基準法を遵守した適切な勤務体制下で、管理運営を行いました。育成指導では、施設利用者の増加もあり職員の資質向上が求められることから、計画内容を若干修正し、社内研修会を13回実施しました。					
	③計画のとおり実施し、職員の勤労意欲や能率の向上、健康維持を図りました。					
	④専任の担当者が社会保険労務士や税理士の助言・指導を得ながら、各種納税、保険料の納付を適切に行いました。					
	⑤令和5年度の法人決算では、経常収支比率は100.2%となり、財政状況に問題はありません。					
施設所管課コメント	・有資格者の配置については、人員確保自体の難しさもあると思われるが、利用者が安心できる環境づくりのためにも、引き続き業務配分の見直し等工夫を図っていただきたい。 ・社内外の会議研修に積極的に参加しており、職員育成及び施設の安定運営に目的意識を持って臨んでいると思われる。 ・専門家の助言を得ながら事務にあたっていることから、適正な財政運営がなされているものと思慮される。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	定期安全点検実施回数			12回	16回	
	児童安全共済制度加入			100%	98%	
	消防・防災訓練実施回数			2回	2回	
	安全講習会実施回数			2回	2回	
	自衛水防組織構成員対象訓練実施回数			1回	1回	
	個人情報保護講習会実施回数			1回	1回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	①安全管理マニュアルに基づいたチェック表に沿って日常点検を実施し、施設・設備の安全性を確保しました。また日常点検では補うことができない箇所については、定期点検、法定点検を実施し、状態を把握することで、改善箇所の早期発見と早期対応を図りました。このほか四半期毎に本社職員と定期確認を行いました。					
	②緊急連絡系統図を事務所内に掲示し、所管課、職員間などの連絡体制を明確にし、緊急時において迅速な危機管理体制をつくれるよう定期的な確認を行ったほか、危機管理に関する各種マニュアルに沿って、職員研修会を実施しました。					
	③消防訓練は施設全体の合同訓練として、利用者にも参加していただき2回実施しました。その他救急対応マニュアルを用いた安全講習会を2回、社会福祉施設避難確保計画を用いた自衛水防組織構成員訓練を1回実施しました。					
	④栃木市個人情報保護条例及び当社の個人情報保護規定に基づき、職員研修を実施しました。個人情報保護関連資料を含めた各種マニュアルは、全職員がいつでも確認できる環境を整えており、保存の必要がなくなった関係書類は裁断処理を行い、確実に破棄しました。					
施設所管課コメント	・施設管理については、日常点検・定期点検を適正に行っていると思われる。					
	・利用者も参加した施設全体の訓練を実施し、実際の災害発生時に役立つ実践的な取組を行っている評価できる。					
・今後も突然の災害に対応できるように訓練等を通じて万全の体制を整えていただきたい。施設の性質上、引き続き感染対策は必要であることから、情報収集等を含め安全対策に万全な対応をお願いしたい。						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	20	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	16	12	
評価点合計	100	87	88	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
資産総額	75,416,940	74,358,064	65,026,176
売上高	321,257,852	338,434,405	306,129,407
経常利益	777,958	2,386,795	454,775
当期利益	612,558	2,221,395	289,375
経常収支比率	100.2%	100.7%	100.2%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
経常費用	327,395,680	341,813,718	306,645,202
経常収益	328,173,638	344,200,513	307,099,977
経常収支比率	100.24%	100.70%	100.15%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

令和6年3月期の法人決算では、経常利益・経常収支比率ともプラスとなり、健全な財政状況を維持しています。施設の利用が拡大傾向となったが故、職員の体制や安定した施設管理により一層気を配らなければなりません。児童福祉における人材の確保や育成に課題を残す1年となりましたが、職員にとって働きやすい環境を整備することで、管理運営の質を向上させていきたいと思ひます。